

# スマート農業導入支援サービス

代表機関：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
共同研究機関：なし  
実施年度：2022年度～2024年度（フェーズ1、2）  
キーワード：スマート農業、経営指標、経営計画



研究代表者：宮武 恭一

- ▶ スマート農業実証経営で収集した技術・経営データに基づくスマート農業経営指標と、それを用いてオーダーメイドの経営改善策を提案できる経営計画策定支援システムを開発
- ▶ 大規模農業法人向けのコンサルティング・サービスとしての試行を通じて、サービスの顧客満足度向上や顧客開拓を進めており、**2025年に法人を設立し、サービス提供を開始予定**

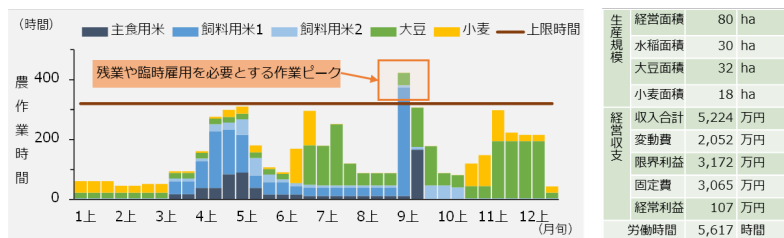
## 背景・目的 スマート農業技術の普及によりイノベーションを創出

- ▶ 農作業の省力化や生産性向上への期待が高いスマート農業であるが、その導入には多額の投資が必要な場合が多い。一方、導入効果は経営により異なるため、スマート農業の導入を検討している農業者の意思決定を支援するサービス事業を構築し、スマート農業の普及を加速する

## 目標 経営計画を支援する農業経営計画策定支援システムの開発

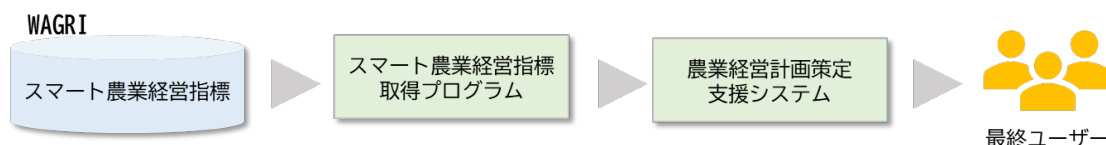
- ▶ スマート農業技術を導入して利益向上をめざす農業法人、それに助言する普及センター等の支援機関、スマート農機の導入を提案するメーカーが、それぞれの経営実態に即した経営指標をWAGRIから取得し、年間の作業計画や収支計算をお試しできる農業経営計画策定支援システムを開発

### 【農業経営計画策定支援システムの出力例】



## 研究内容 スマート農業経営指標の拡充とシステムの改良

- ▶ 水田作経営において栽培されることが多い水稻、麦類、大豆、露地野菜等においてスマート農業を導入した経営改善効果を推計し、スマート農業経営指標を構築
- ▶ WAGRIに搭載されたスマート農業経営指標データベースの中から、利用者がそれぞれの経営条件に合った経営指標を取得するプログラムと試算計画法により経営計画を検討するためのシステムを開発
- ▶ 大規模農業法人においてシステムを用いたコンサルティング・サービスを試行し、顧客満足度調査等を通じて、システムの改良と活用のノウハウを蓄積



<代表機関概要> (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構

■ HP : <https://www.naro.go.jp/index.html>

■ 所在地 : 茨城県つくば市観音台3-1-1

■ 連絡先 : [fmnarc\[at\]naro.affrc.go.jp](mailto:fmnarc[at]naro.affrc.go.jp) ([アット]を@に置き換えてください)